

「10の疑問から学ぶふくしま復興のあゆみ」



福島を応援する「ペコ太郎」

福島県では、震災と原発事故から間もなく15年が経過する中で、**福島県の復興の状況**をより多くの方に知っていただけるよう、**復興に関する10の疑問**に答える形で、図や写真でわかりやすくまとめた資料を作成しています。

「**福島県の復興**って今どれくらい進んでいるんだろう・・・？」と疑問に思っ
た方や初めて福島を訪れる方などに是非ご覧いただければと思います。



福島県
復興シンボル
キャラクター
「キビタン」

10の疑問

- (1) 地震と津波の被害はどれくらいだったの？
- (2) 原子力災害はどんなものだったの？
- (3) 放射性物質ってなんだろう？
- (4) 廃炉作業ってなんだろう？
- (5) ALPS処理水ってなんだろう？
- (6) 避難指示等区域ってなんだろう？
- (7) 福島の食生活はどうなったの？
- (8) 福島の観光はどうなったの？
- (9) 福島イノベーション・コースト構想ってなんだろう？
- (10) 風評被害ってなんだろう？

10の疑問から学ぶ
ふくしま復興のあゆみ▼



ページ一例

**10の疑問から学ぶ
ふくしま復興のあゆみ**

Aは、2026年5月に開園した「福島県復興記念公園」だよ。東日本大震災で亡くなった人への、ふたつと、震災や原発事故の記憶や教訓、復興への思いを次の世代へ伝える大切な場所なんだ。

Bは、2026年3月に双葉町でオープンした商業施設「MEMEGURU FUTABA」だよ。3店舗の飲食店があって、住民や来訪者が集うことで、新たなにぎわいを生み出しているんだ。Cは、2026年4月に開所した浪江町の国内最大級の商業施設「シャインコーストファーム」だよ。最新技術を活用して緑化に取り組み、農業を立て直したり働く場所を増やしたりして、地域の復興に貢献しているんだね。

福島県
2026年7月21日発行

① 地震と津波の被害はどれくらいだったの？

2011年3月11日の地震は、マグニチュード9.0を記録し、国内観測史上最大級の地震だったんだ。福島県では最大震度6強を記録し、地震で建物が倒れたり、土砂が崩れたりもしたんだ。海沿いの地域は、津波で大きな被害を受けたよ。

各地の震度と被害状況

地震被害：浪江町
津波被害：浪江町
津波被害：いわき市
津波被害：白河市

この地震で亡くなった人は、4,182人だよ（2026年5月1日時点）。そのうち、地震・津波が直接の原因で亡くなった人は1,605人で、そのほとんどが津波によって亡くなった方なんだ。また、その後の避難生活などで体調を崩して亡くなった方は2,351人で、このようにして亡くなってしまうことを、「震災関連死」というよ。

⑩ 風評被害ってなんだろう？

今と違って、福島県のものなどの評価が他の県よりも安いことや、教育旅行の人数が震災前の状況まで回復していないことを懸念したね。

関連した情報があることを「風評」といい、風評による誤解や思い込みで、福島県産のものや、福島県に暮らすことが避けられてしまうことを「風評被害」というよ。

海外や国内での状況

2011年8月
福島県産食品の一部が輸入禁止されている国・地域（4ヶ国）
福島県産食品の一部が輸入禁止されている国・地域（4ヶ国）
福島県産食品の一部が輸入禁止されている国・地域（4ヶ国）

福島県では、風評を取り除くために、県内の放射線量の状況などの正しい情報と、農林水産物や観光などの魅力を国内外に発信したりする取組を進めているんだ！

福島県の魅力を発信

海外での農林水産物のPR
海外での農林水産物のPR
海外での農林水産物のPR

○復興の基礎的な情報に加え、現状と課題等をまとめた「復興・再生のあゆみ」
○復興の進捗をグラフ等を用いてまとめた資料集「ふくしま復興のあゆみ」
○復興の状況・浜通り地域等15市町村のあゆみを視覚的にまとめた『「新生ふくしま」の実現に向けて』も作成しています。復興の状況について詳しく知りたい方は是非ご覧ください！

詳しくはこちら▼



お問合せ先

福島県 企画調整部 復興・総合計画課 E-mail fukkoukeikaku@pref.fukushima.lg.jp